

応募書作成ガイド

2016 年 品質工学会日本規格協会理事長賞応募書

・本ページは応募書の表紙（1 ページ目）となります。

応募年月日 年 月 日

（一社）品質工学会

会長 谷本 勲 殿

（ふりがな）

応募者： _____ 印

連絡先（〒 _____）_____

TEL： _____ FAX： _____

E-mail： _____

1. 受賞候補者：

候補者名： _____

会員 No： _____

連絡先（〒 _____）_____

TEL： _____ FAX： _____

E-mail： _____

- ・ 受賞対象となる候補者名（または組織体名）、所属、連絡先を記載してください。
- ・ 受賞対象者は応募者と同一でも構いません。
- ・ 組織体の場合は、組織体名および組織体代表者を記載してください。
- ・ 組織体の場合は、下記欄に組織体に所属する品質工学会の氏名と会員番号を1名分、記載してください。応募者と同一でも構いません。

品質工学会所属者氏名： _____

会員 No： _____

2. 推薦者：

連絡先（〒 _____）_____

TEL： _____ FAX： _____

E-mail： _____

- ・ 推薦者名と所属、連絡先を記載ください。
- ・ 組織体による推薦の場合は、組織体名と推薦責任者名を記載ください。
- ・ 応募者および/または受賞候補者と同一でも構いません。

- ・ 「3. 推薦理由」と「4. 推薦理由となる具体的実践・普及の業績内容」は、自由形式で作成してください。
- ・ 「3. 推薦理由」以下の資料は、応募用紙の2ページ目以降となるようにしてください。

3. 推薦理由：

- ・ 賞の主旨に鑑みて、実践状況、普及状況およびその業績をもとに、推薦理由を記載してください。

4. 推薦理由となる具体的実践・普及の業績内容：

- ・ 各項目について記載事項が特にならない場合は、「記載事項なし」としてください。
- ・ 推薦の理由となる活動内容を、以下に示す項目ごとに具体的に記載してください。
- ・ 下記に示された項目以外に賞の主旨に関連して推薦する理由がある場合には、その他の項目を利用するか、新たに項目を追加して記載してください。
- ・ 可能な限り、審査過程でその内容を確認できるように記載してください。確認できる資料の写しがあれば添付してください。

4.1 標準化への実践：品質工学に関連した国際規格，日本工業規格，各団体規格，社内規格の制定実績

- ・ 制定団体，規格 No，規格タイトル，規格制定年度

4.2 品質工学学会投稿ならびに活動実績：

- ・ 掲載論文，題名，発表年度，（筆頭，連名）
- ・ 掲載論説，解説，発表年度
- ・ 大会発表数 題名，発表年度
- ・ 品質工学関連受賞数，受賞論文題名，受賞時期，授賞の名称，授賞者
- ・ その他，投稿，題名，発表年度
- ・ この1年および，過去の実績
- ・ 表彰実績
- ・ 論文賞，大会賞，ASI賞，会長賞，実行委員長賞
- ・ 貢献賞
- ・ その他

4.3 社内（組織体内）発表：社内における品質工学関連の実践，表彰などの実績

- ・ 社内発表会，名称と発表件数
- ・ 社内報告数，その題名，報告年度
- ・ 社内表彰実績

- ・ 普及などの関する活動記録：普及活動名，普及による実践数，教育者数など
- 4.4 品質工学会誌以外の発表：各専門学会，団体に発表がある場合の実績
- ・ 各学会，団体での発表実績：題名，会誌名，学会名，発表年月日など
 - ・ 品質工学に関連する国際会議，大会，ASIのフォーラムなど
 - ・ 受賞実績
- 4.5 著書：本，雑誌などへの掲載・出版実績
- ・ 書籍：タイトル，出版社，初版年度
 - ・ 雑誌掲載：題名，雑誌名，出版社，掲載年月
 - ・ 書籍，雑誌などの発行実績：書籍名，出版社名，年月日，発行の役割
 - ・ 受賞実績
- 4.6 教育受講歴：教育の受講，主催実績
- ・ 社外（組織体外）セミナー受講歴：セミナー名，セミナー団体，受講年月日，人数
 - ・ 社内（組織体内）セミナー受講歴：教育名，主催者，受講年月日，人数
 - ・ 受賞実績
- 4.7 教育実施：社（組織体）内外への教育の教授，講師，主催など
- ・ 社外組織への講義実績：教育名，主催者，実施実績
 - ・ 関連会社への教育実施：教育名，主催者，実施実績
 - ・ 教科実施：授業名，開催数，卒業者数，論文実績数（タイトル，年月日）
- 4.8 指導実績：コンサルティング，指導実績
- ・ 社内コンサルティング実績：指導テーマ，指導組織，指導年月日
 - ・ 社外コンサルティング実績：指導テーマ，指導組織，指導年月日
 - ・ 受賞実績
- 4.9 普及実績：組織としての研究会の開催，マネジメントとしての組織設計と運用など
- ・ 研究会の主催・開催：研究会名，研究会開催実績，研究成果（外部発表など）参加団体数，参加メンバー数などの実績
 - ・ 組織設計：組織のマネジメントに当たり，品質工学の実践・普及のための組織設立，戦略設定，運用などの実績
 - ・ 普及組織のマネジメント経歴：団体，職位，所属年月日
 - ・ 受賞実績

4.10 その他：

- ・ 品質工学の実践，普及，推進のために行った実績
- ・ 項目 4.1～4.9 以外の追記事項

以上